

## 地域周産期母子医療センター

- 産科病棟
- NICU (新生児集中治療室)

当院では、急変等に対応できるように「産科医、新生児科医、救命医、麻酔医、助産師」が24時間常駐しております。

当院では、陣痛の痛みを和らげる方法の一つとして**無痛分娩**を行っております。

詳細は武蔵野赤十字病院・地域周産期母子医療センターのWebサイトをご覧ください。

分娩：60万円～ 無痛分娩：72万円～



### 産後ケア宿泊型サービス「アイルーム」 (武蔵野市事業)

出産後の「こころとからだの休息」と「リフレッシュ」を目指しています

【助成金適用あり】

母子1組 1泊2日 70,000円～ 母子1組 1泊2日 10,000円～

・武蔵野市民の方で、産後ケア事業の対象になる方には助成があります。  
事前に武蔵野市に登録申請を行い、「利用登録書」の交付を受けご予約ください。  
詳しくは武蔵野市健康課 (0422-51-0700) にお問合せください。  
詳細は武蔵野赤十字病院・地域周産期母子医療センターのwebサイトをご覧ください。

<https://www.musashino.jrc.or.jp> 〒180-8610 武蔵野市境南町 1-26-1 ☎0422-32-3111



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

## 武蔵野赤十字病院

# Eye むさしの

No. 78

2023年 夏

〒180-8610  
東京都武蔵野市境南町1-26-1  
TEL 0422-32-3111  
季刊 情報誌

## 健診センターからのお知らせ

### 「土曜日」開設の人間ドックのご案内

- 平日は忙しくて！という方向け

平日は忙しくて健診を受けられない方（65歳以下）を対象に、土曜日の人間ドックを開設しました。



健康管理の一環として、武蔵野赤十字病院健診センターをご利用ください。お待ちしております。  
★詳しくは病院ホームページの「人間ドックのご案内」で紹介しています。

—申し込み方法—  
電話予約または直接健診センターへの来院予約  
月曜日～土曜日 午前9時～午後4時  
(但し年末年始 12/29～1/3及び5/1は除く)

電話番号 0422-30-5638 (直通)  
または 0422-32-3111 (代)

### 「平日」開設の認知症ドックのご案内

- 頭を健康を意識する方向け

体の健康だけでなく、頭の健康を意識する方向けに、認知症に重点を置いた認知症ドックを平日に開設しました。



頼れる病院をめざします

武蔵野市内の中学校にて出張授業を実施している様子

### 基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

### 基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供します
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図ります
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進めます
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続します
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくります



主催：日本肝臓学会・東京都肝疾患診療連携拠点病院

2023年度 肝がん撲滅運動市民公開講座

## ぜひ知っておいてほしい、『肝臓のすべて』

7月30日（日）武蔵野赤十字病院にて開催しました。

### 【開催挨拶】

東京都保健医療局担当部長  
保健政策部疾病対策課長事務取扱

渡部 ゆう

武蔵野赤十字病院 院長

泉 並木

### 【肝臓の病気の予防・診断・治療のすべて：脂肪肝からウイルス性肝炎まで】

武蔵野赤十字病院 消化器科副部長

肝疾患相談センター 副センター長

玉城 信治

### 【肝臓に良い生活習慣とは？：栄養・運動から飲酒まで】

武蔵野赤十字病院 消化器科部長

土谷 薫

### 【肝硬変の病状管理と治療の進歩：栄養素の補充から薬物療法まで】

武蔵野赤十字病院 消化器科部長

中西 裕之

### 【肝がん治療の新しい展開：あきらめない治療の現状と将来展望】

武蔵野赤十字病院 消化器科副部長

安井 豊

### 【質疑応答】 【司会・閉会挨拶】

日本肝臓学会肝がん撲滅運動東京都責任者  
武蔵野赤十字病院 副院長

黒崎 雅之

## ～看護師の活動紹介～

### 「地域の学校へのがん教育」

地域がん診療連携拠点病院である当院では2020年10月より武蔵野市内にある中学校へ出向き、がんに関する教育を行う活動を始めました。院内から選出された医師・看護師・臨床心理士らが出張授業を行っています。

授業の内容は「がんの基礎知識」「がんの予防と検診」「がん治療」「がん治療を支える緩和ケア」「がんと一緒に生きる」「がんになっても自分らしく暮らせる社会」といった内容です。

使用するスライドは院内で検討と工夫を重ね、最近のトピックスや治療技術などタイムリーな内容を折り込みました。わたしたち自身の経験を含めながらお話をし、健康と命の大切さ、周囲の人を大切に思う気持ち、それぞれが生活しやすい社会作りのために自分ができることは何か、学生さんたち自ら考えられるように、投げかけや意見交換をしながら授業を行っています。

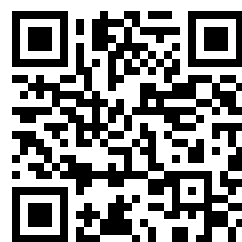
学生さんたちからは「親にがん検診に行くように伝えたい」「偏った食事をしないようにしたい」「人の痛みを想像することが大事」「いつもそばにいるよって伝えたい」といった声が挙がりました。様々な状況・環境下にある人に対し、正しい知識のもとその人の気持ちを想像し、思いやることの大切さを学んでくださっています。

真剣に授業を聞き一生懸命考えてくれる学生さんたちと過ごす時間は、私たちにとっても明るい将来が見えるような、日々の活力へつながるような経験となっています。

武蔵野赤十字病院では今後も、これからの地域・社会を担う若い世代に対して健康と共生を伝える活動を行ってまいります。



外来 看護師  
下田 陽子



### オンデマンド配信視聴可能期間

8月14日（月）～8月31日（木）

※期間中は何度でもご自由に視聴いただけます

[https://www.musashino.jrc.or.jp/notice/tag/tag\\_course](https://www.musashino.jrc.or.jp/notice/tag/tag_course)

上記URLもしくはQRコードより病院ホームページへアクセスの上ご確認ください